



飼料費は養豚生産費の約6割を占めており、近年の飼料価格の急騰は養豚経営の悪化につながります。農林技術開発センター畜産研究部門では、飼料価格高騰対策の一つとして、大麦ぬか20%および米ぬか5%を市販配合飼料と混合して作成した低コスト飼料を肥育後期（体重約70kg）の豚に給与する試験に取り組みました。

その結果、低コスト飼料を給与すると、肥育後期豚の増体や枝肉成績は変わりませんが、ロース肉を冷蔵庫で48時間あるいは72時間保管した後

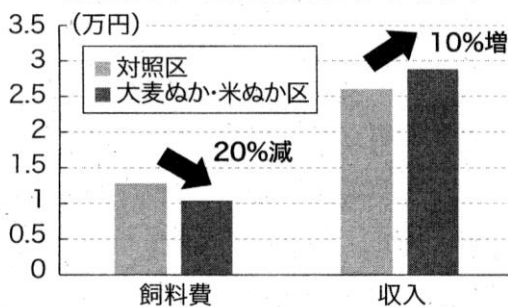
の肉汁の損失量が少なくなり、肉質の改善効果が見られました。大麦ぬかや米ぬかに

豚の飼料費削減

大麦と米のぬか 配合 肥育順調 肉質も改善

はポリフェノールやビタミンEなどの抗酸化物質が含まれていることから、これらが肉質の改善効果に影響したものと

1頭当たりの飼料費および収入



と考えられます。さらに、この低コスト飼料の給与によって、飼料費が20%削減され、収入を10%向上することができました。

このように大麦ぬかや米ぬかなどのぬか類を上手に活用することで、養豚の飼料費高騰対策につながる事が分かりました。

（長崎県農林技術開発センター 畜産研究部門 中小家畜・環境研究室 室長 深川聡）